

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 1 年 12 月 19 日 (2019.12.19)

【公表番号】特表 2018-536475 (P2018-536475A)  
 【公表日】平成 30 年 12 月 13 日 (2018.12.13)  
 【年通号数】公開・登録公報 2018-048  
 【出願番号】特願 2018-523431 (P2018-523431)  
 【国際特許分類】

A 6 1 M 15/08 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 15/08

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 5 日 (2019.11.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

取替可能な容器 (3) からの流体 (2) を噴霧するためのネブライザ (1) と、  
前記流体 (2) を収容する前記容器 (3) と、を備えるシステムであって、  
前記ネブライザ (1) は、  
前記容器 (3) を用いて実行されたか又は依然として実施可能な使用回数を計数する又  
は示すための表示デバイス (25) と、

前記表示デバイス (25) により計数された又は示された前記容器 (3) を用いて実行  
されたか又は依然として実施可能な使用回数に基づいて、1 つの前記容器 (3) の予め定  
められた使用の後にロック状態で該容器 (3) を用いる更なる使用に対して前記ネブライ  
ザ (1) を阻止するためのロッキングデバイス (26) を含み、

前記容器 (3) は、該容器 (3) の未使用状態を示すための制御デバイス (28) を含  
み、

前記制御デバイス (28) は、前記ロッキングデバイス (26) が前記表示デバイス (  
25) を通じて前記制御デバイス (28) によってアンロックされ、そして前記ロッキン  
グデバイス (26) をアンロックすることによって前記ネブライザ (1) を阻止解除する  
ように、未使用容器 (3) が前記ネブライザ (1) と共に最初に使用される時に前記表示  
デバイス (25) をリセットし、前記制御デバイスは、前記ロッキングデバイス (26)   
を間接的に、前記表示デバイス (25) を通じて制御する、

ことを特徴とするシステム。

【請求項 2】

前記制御デバイス (28) は、制御部材 (32) を備え、該制御部材 (32) は、前記  
容器 (3) の未使用状態のときにある第 1 の位置から、第 2 の位置に移動可能であり、前  
記第 1 の位置にある前記制御部材 (32) は前記容器 (3) の前記未使用状態を示し、前  
記第 2 の位置にある前記制御部材 (32) は前記容器 (3) が既に使用された状態を示す  
ことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記ネブライザ (1) 又はそのハウジング部分 (18) が前記容器 (3) について最初  
に完全に閉じられて前記制御デバイス (28) が内側にある時に、前記制御部材 (32)   
は、前記第 1 の位置を離れているか前記第 2 の位置にあることを特徴とする請求項 2 に記

載のシステム。

【請求項 4】

前記制御部材（３２）が前記第２の位置に移動した後、前記制御部材（３２）は移動して前記第１の位置に戻ることはできないことを特徴とする請求項２又は３に記載のシステム。

【請求項 5】

前記制御部材（３２）は、皿状及び少なくとも実質的に平坦であることを特徴とする請求項２から請求項４のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項 6】

前記制御デバイス（２８）は、前記制御部材（３２）の開口部（３４）を通して軸線方向に延び、かつ前記制御部材（３２）の上に突出する中心ボルト（３３）を含む、ことを特徴とする請求項２から請求項５のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項 7】

前記制御部材（３２）は、前記制御デバイス（２８）内で移動可能であることを特徴とする請求項２から請求項６のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項 8】

前記制御部材（３２）は、前記第１の位置に形状適合、圧力嵌め、又はスナップ装着によって保持されることを特徴とする請求項２から請求項７のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項 9】

前記第１の位置において、前記制御部材（３２）は、前記制御デバイス（２８）又は前記制御デバイス（２８）のハウジング（３１）のそれぞれの凹部（３６）の中に少なくとも１つの係合部分（３５）を用いて係合することを特徴とする請求項２から請求項８のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項 10】

前記制御デバイス（２８）又は前記制御部材（３２）は、前記第１の位置を離れる前記制御部材（３２）を軸線方向に移動するか又は押下げるために、予め決められた制御力を印加する必要があるように構成されていることを特徴とする請求項２から請求項９のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項 11】

前記制御部材（３２）は、前記第２の位置に形状適合、圧力嵌め、又はスナップ装着によって保持されることを特徴とする請求項２から請求項１０のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項 12】

前記表示デバイス（２５）は、少なくとも１つの表示要素（４１）と前記表示要素を回転送りするための起動要素（４０）を含み、前記起動要素（４０）は前記容器（３）及び前記制御デバイス（２８）の軸線方向又は行程移動を段階的回転移動に変換することを特徴とする請求項１から請求項１１のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項 13】

前記表示デバイス（２５）は、前記ロッキングデバイス（２６）を制御し又は起動し、前記表示デバイス（２５）は、前記ロッキングデバイス（２６）の制御要素（４７）と協働する少なくとも１つの突起（４２Ｃ）及び／又は凹部（４２Ｄ）を有する回転可能な部分を含むことを特徴とする請求項１から請求項１２のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項 14】

前記突起（４２Ｃ）が、前記制御要素（４７）又は前記凹部（４２Ｄ）から離れて前記制御要素（４７）と接触するように移動される時に、前記制御要素（４７）は移動され、前記制御要素（４７）の前記移動は、ボルト又はロッキング要素（４６）をロック位置の中に又は外に移動させることを特徴とする請求項１３に記載のシステム。

【請求項 15】

前記ネブライザ（１）が、ハウジング（２４）と、前記容器（３）を挿入する又は取り

替えるために前記ハウジング（２４）から取り外すことができるハウジング部分（１８）とを含むことを特徴とする請求項１から請求項１４のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項１６】

前記表示デバイス（２５）は、前記ハウジング部分（１８）に配置されることを特徴とする請求項１５に記載のシステム。

【請求項１７】

前記ロックングデバイス（２６）は、前記ロック状態で前記ネブライザ（１）の引張を又は前記容器（３）の軸線方向の移動及び／又は前記ネブライザ（１）に対する前記容器（３）の相対的な移動を阻止するようになっていることを特徴とする請求項１から請求項１６のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項１８】

前記制御デバイス（２８）は、前記容器（３）の小出し開口部又はヘッド（３０）の反対側に及び／又は前記容器（３）の底部又はベース（２１）に配置されることを特徴とする請求項１から請求項１７のいずれか１項に記載のシステム。

【請求項１９】

前記制御デバイス（２８）は、前記容器（３）と分離不能に接続されることを特徴とする請求項１から請求項１８のいずれか１項に記載のシステム。